

地域支援事業



～ 全国の中小企業が元気になれば、日本は再生する ～



産官学一体となった地域支援プロジェクト



～ 創生する未来 ～

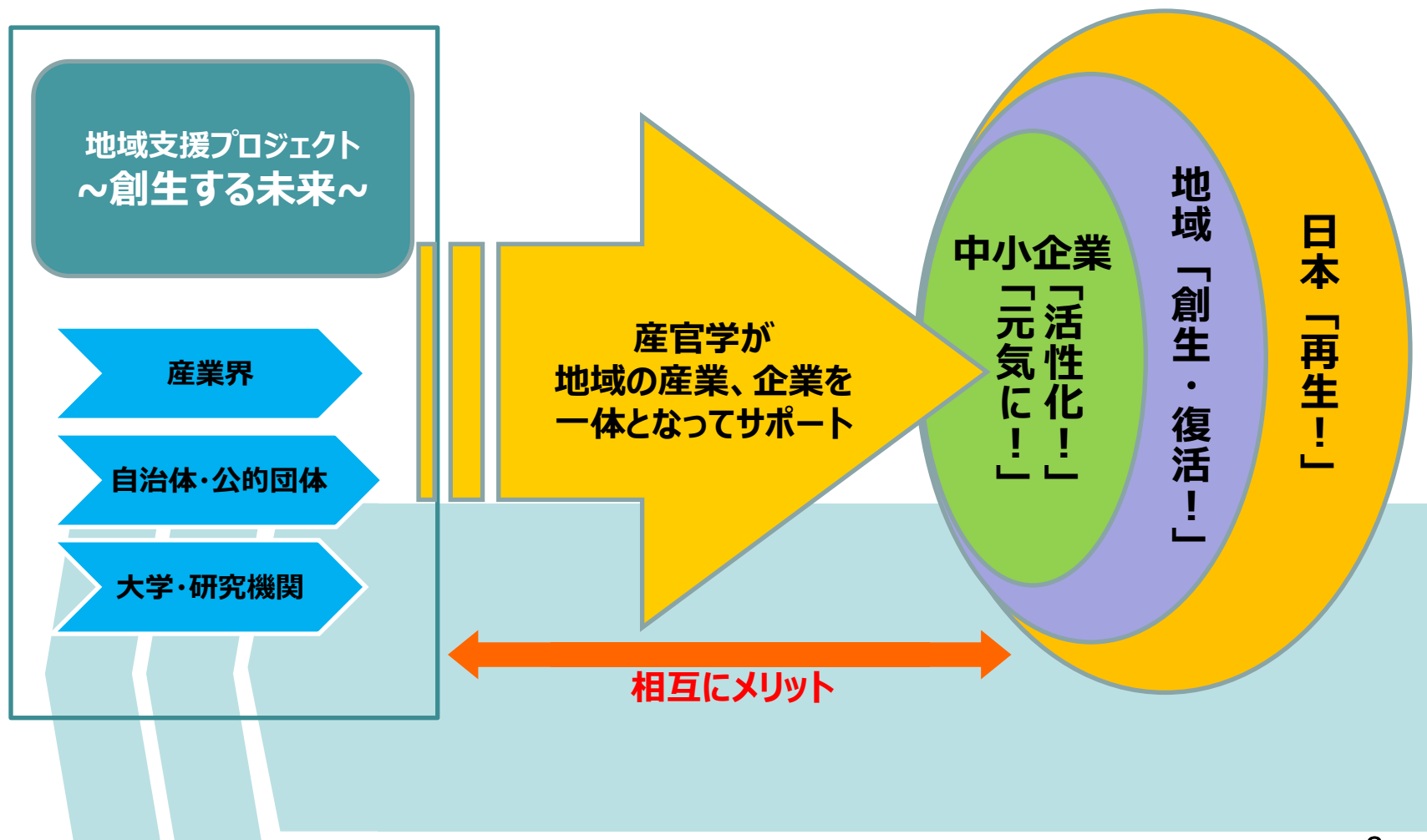
事業案内書

2016年6月

地域支援プロジェクト ～創生する未来～とは？

全国の中小企業が元気になれば、日本は再生する！

「創生する未来」は、全国の地域と産業、企業を産官学で応援、サポートする事業です。



～創生する未来～ 事業の主旨・事業内容

「地域支援プロジェクト ～ 創生する未来 ～」

・全国各地域の中小企業を対象に「**地域支援プロジェクト～創生する未来～**」として、企業経営の継続戦略、企業活動の活性化に寄与する講演、セミナー、フェアなどのイベントを地方自治体単位（市町村単位）で企画・実施する。

・企画主旨/狙い

① 中小企業向け

中小企業支援策として、IT/クラウドの利活用の推進・進展による企業経営の効果・効率の向上、企業価値の最適化のサポート。

② ベンダー向け

ITベンダーの地域営業展開の支援を目的として、地元中小企業や地場のITベンダーとのマッチングの“場”を提供し、ベンダーによる中小企業のIT利活用の振興・推進と併せてITベンダーの拡販に寄与する。

③ 自治体向け

企業の活性化による自治体の行政評価の向上、企業誘致に繋げる。

「創生する未来」の事業内容

地域支援プロジェクト
～ 創生する未来 ～

支援事業①②を基本事業として実施

地域及び中小企業支援

(支援事業①) IT/クラウド活用セミナー・イベントの実施

支援の
目的・狙い

- ・IT利活用の推進・進展による経営効率/効果の向上
- ・企業価値の最適化
- ・地域の活性化による企業誘致など自治体への支援

ITベンダー拡販・販促支援

(支援事業②) 地元中小企業、地元ITベンダーとの マッチングの“場”の提供

支援の
目的・狙い

- ・セミナー活用によるアプローチ先の開拓
- ・IT利活用の振興/進展

(支援事業③オプション)

地域マーケティングデータ（地域統計・指標）の作成

支援の
目的・狙い

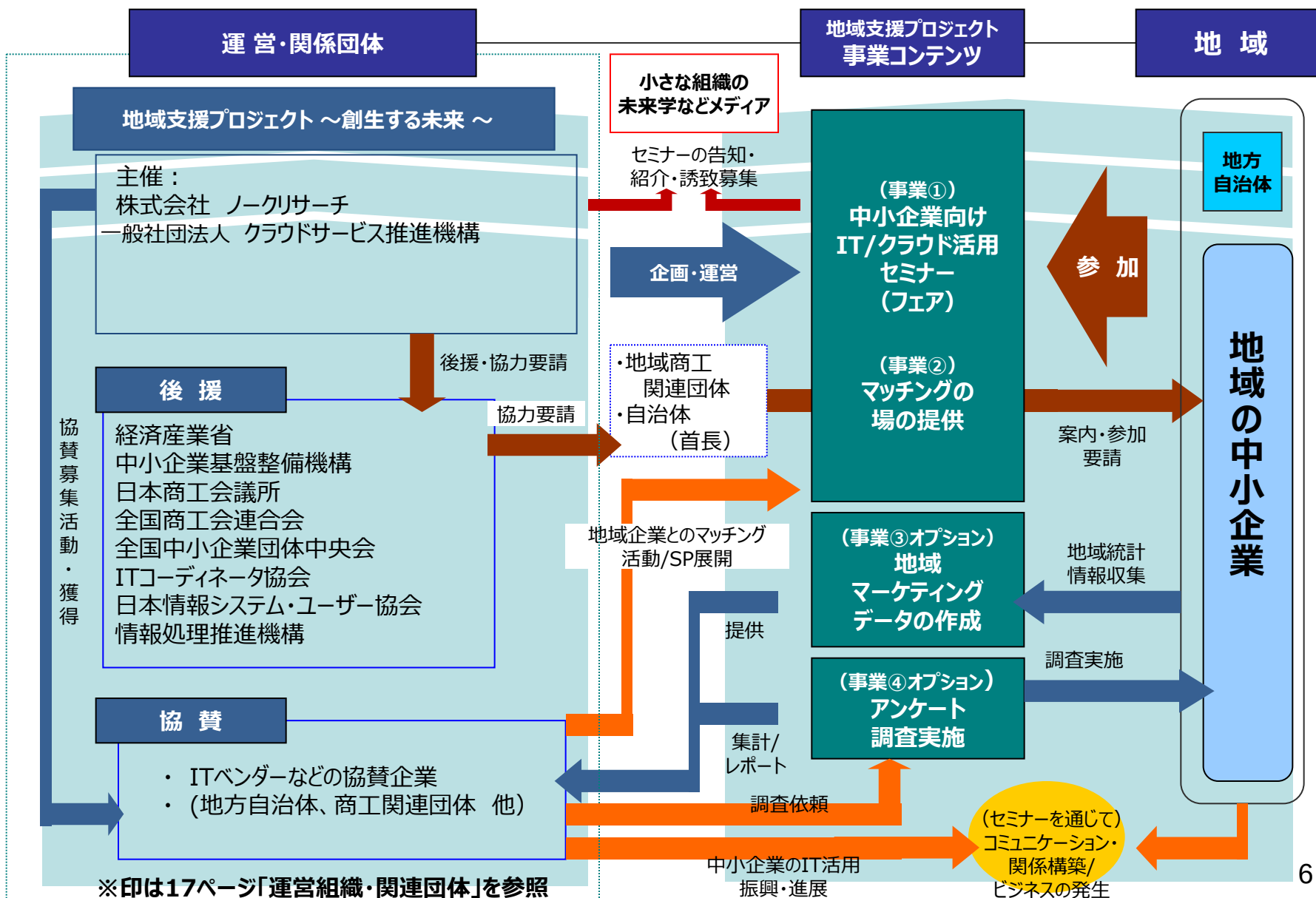
エリア戦略策定のサポート資料・意思決定材料の提供

(支援事業④オプション) ITの利活用状況等に関するアンケート調査

支援の
目的・狙い

地域中小企業のITの現状・投資意欲等について調査を実施、地域企業の基礎情報を把握

「創生する未来」の運営及び事業フロー

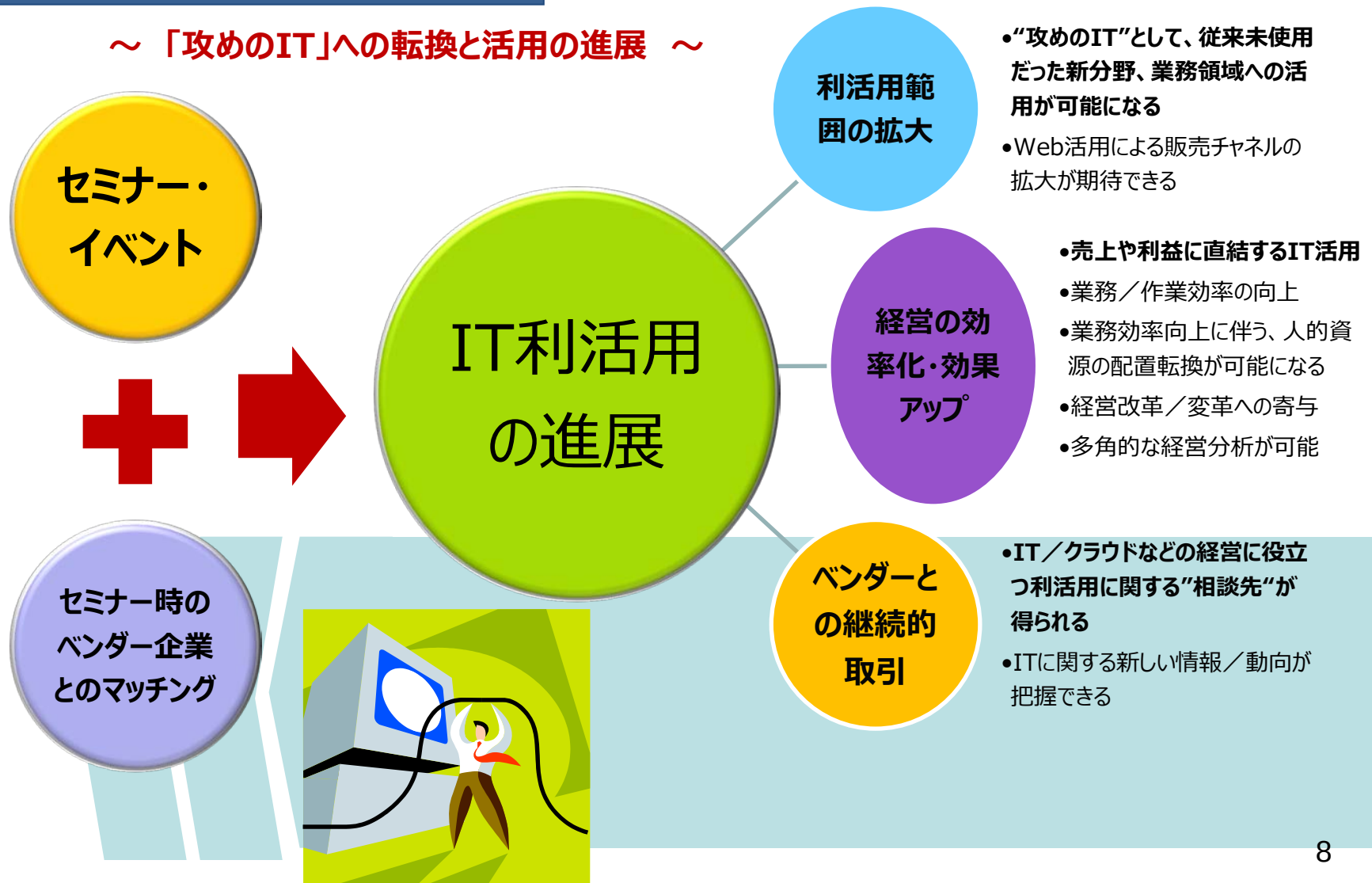


～創生する未来～ 事業の目指す効果

効果①攻めのITで中小企業のコアな経営活動をサポートする

中小企業の効果

～ 「攻めのIT」への転換と活用の進展 ～



効果②地域経済の活性・企業の売上が見える支援活動をサポートする

地域・自治体の効果-1

イベントを通して
地元中小企業の
IT利活用の推進

- ITを賢く使った経営効率向上／販促活動のサポートに繋がる。
- 地域中小企業のIT振興・利活用促進支援に繋がる。
- IT活用の進展に伴い、“新しい産業”、“販売チャネル”創出の啓蒙・きっかけづくりができる。
- 企業の活性化支援により行政評価の向上

中小企業へのIT
関連支援策の訴
求と実態把握

- セミナーでの自治体からの講演を通じて、地域中小企業への支援政策を訴求できる。
- セミナー時の“質疑応答”等から、地域の“IT利活用の定性的でリアルな実態”が把握できる。
- (オプション事業の) 地域中小企業へのアンケート調査により、IT利活用の定量的実態が把握できる。

中小企業

元
活
気
化
！
！

地域の創生・復活！

効果②自治体における、当該地域企業のIT利活用の推進サポートと活動の発信

地域・自治体の効果

- ・（セミナーにおける自治体自身での講演により）
中小企業へのIT関連支援策の訴求と実態把握が可能
- ・ イベントを通して地元中小企業のIT利活用の推進につながる
- ・ （セミナーへの協力により）自治体・地域が、「小さな組織の未来学の地域版※」をもとに日本全部とつながる

（地域創生のための自律拠点を構築予定）

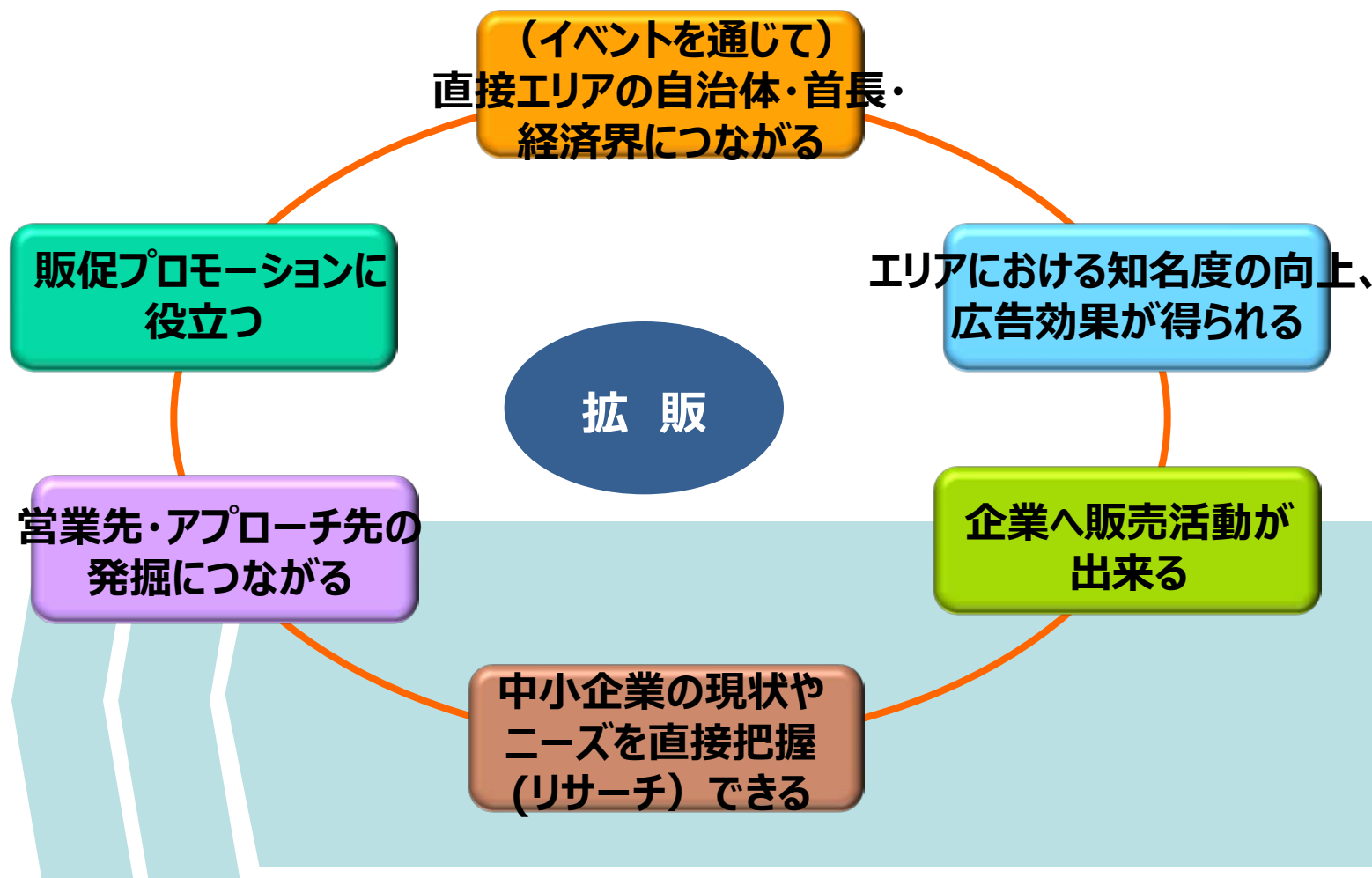
- ⇒ 自分の自治体（地元企業、産業など）を全国に宣伝、訴求することができる。
- ⇒ エリアの経済活動（企業）の活性化につながる。
- ⇒ 「継続的な事業創造の場」を得られる。

※「小さな組織の未来学の地域版」についてはP22からの「メディア連携オプション」を参照。



効果③協賛企業が全国に販売効果の高いマーケティング拠点をを持つことをサポートする

協賛企業の効果



(支援事業①) セミナー実施プラン

1. 2015年の計画

①コアプラン

＜初年度（2015年）＞

- ・年6回（予定）
- ・実施地域
東京、名古屋、大阪、札幌、仙台、福岡
- ・初回実施予定
2015年5月中～下旬を目標。
以降、随時実施

＜次年度以降＞

- ・年10～12回（予定）
- ・実施地域
東京、名古屋、大阪、札幌、仙台、福岡
及び全国政令指定都市

②オプションプラン

その他の地区も、別途、事業グループで検討して適宜実施。

2. セミナーテーマと講師

● テーマ（参考例）

原則として、「中小企業の経営に役立つIT・クラウドの利活用」を主題に、関連事項や話題性、地域性を軸としたテーマを設定する。

例：売上げに結びつく、稼ぐIT活用のために
IT投資を無駄にしないために
ITを活用して全国/世界に羽ばたく
“下請け”からの転換～ITを活用した新たな経営
企業にとってITセキュリティは守りの要、どうする？
いよいよ来る「マイナンバー制度」中小企業の対応は？等

また、協賛ベンダーや関連団体による要望も含め決定する。

● 講師

一般社団法人 クラウドサービス推進機構
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会
独立行政法人 情報処理推進機構
経済産業省地方局（仮）
当該地域自治体（仮）
当該地域商工団体（仮）
ベンダー及び中小企業ユーザー（仮）

上記団体よりセミナーのテーマに応じ、1回につき、2～3名を選定。

（支援事業①）セミナー実施プラン （支援事業②）マッチングの場の提供

3.実施計画

（1）セミナー参加人員数（予定）

- ・東京、名古屋、大阪 各100名/回
- ・その他地域 約50名/回

（2）会場

当該地域のホテル、カンファレンス会場、研修施設
他

（3）セミナーテーマ数及び時間

- ・セミナーテーマ 2～3/回
- ・1テーマ当たり 60～90分（質疑応答含む）
- ・時間 合計 約5時間（休憩含む）

（4）告知・集客

- ・Webメディアへのリリース ⇒ 専用サイトへの申込み
- ・（地方紙・専門誌への出向による告知）
- ・当該地域の商工関連団体、自治体による
地元中小企業への参加要請
⇒申込用紙の配布及び回収
- ・協賛ベンダー及び取引のある地元ベンダーから
エンドユーザへの参加要請。

（5）セミナー以外のイベント

- ・討論会、座談会、ミニセッション、ワールドカフェ等の
参加型イベントの組み合わせも想定。

（6）マッチング支援

- ・セミナー等のイベントには、参加者無料の懇親会を実施
する
- ・また、セミナー参加者には、別途アンケートを実施するこ
とで、マッチングの一助とする。

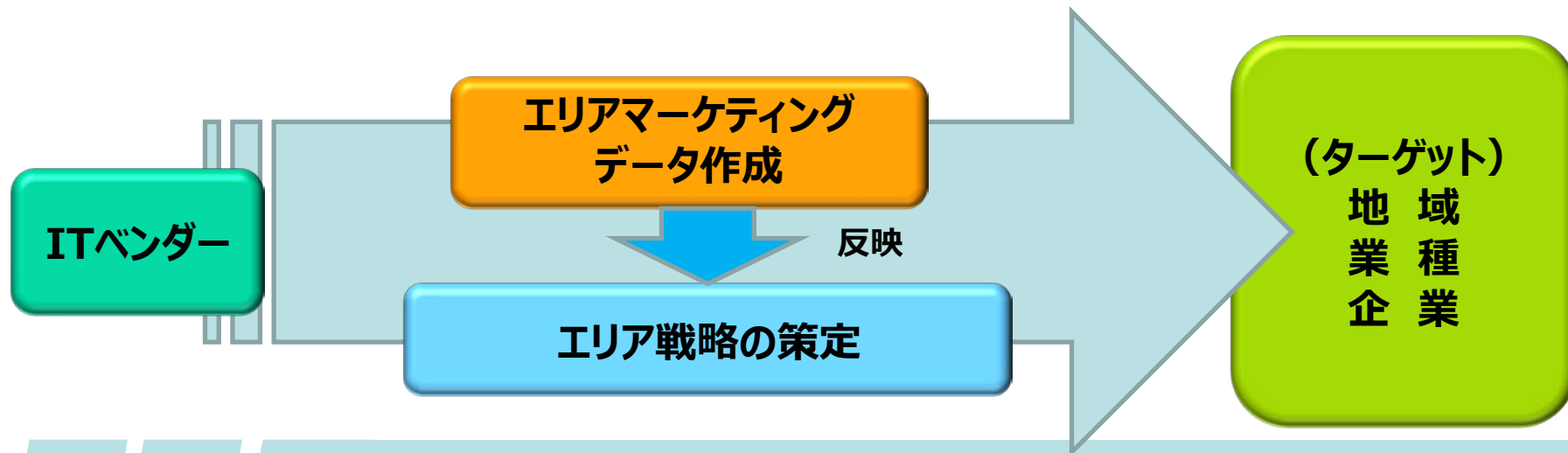
（7）その他

- ・実施地域については協賛ベンダー、または地方
自治体から要望による実施も可能。
- ・セミナーに附随した、協賛ベンダーのフェア等の
イベントも含めて計画する。
- ・セミナー時の配布資料については、基本的には
運営側が用意する。
また、協賛ベンダーの用意による販促ツールなどの
配布も考慮する。

OP補足資料（支援事業③） 「地域マーケティングデータ構築支援」について

ITベンダーのエリア戦略策定のサポートデータとして、セミナー、イベント実施地域（または別途指定地域）のエリアマーケティングデータを作成

当該地域の経済・産業を支えるファクターとして、
社会統計から人口・世帯の推移と今後の変化、地域の産業構造・特性を把握する。



§1. 地域特性の把握

1. 地理・地勢
 - ・位置、交通、歴史、観光、イベント情報
 - ・伝統産業、主要産業、（主要企業）
2. 社会統計・動態と将来の姿
 - ・人口推移、世帯数推移、年齢構成、将来推計

§2. 産業構造・特性の把握

1. 経済構造・動向
 - ・業種別総生産額（純生産額）推移・特性
2. -1. 産業特性/事業所特性
 - ・業種別事業所数・従業者数推移
 - ・主要産業、（主要企業）
- 2-2. 中小企業の特性
- 2-3. 地方公共団体の事業所・就業者

§3. IT潜在導入力指数とサマリー

3. IT潜在導入力指数とサマリー
 - ・IT潜在導入力指数の算出
 - ・サマリー

OP補足資料（支援事業④）「地域企業のIT利活用状況等の実態調査支援」について

地域中小企業のITの現状・投資意欲等について調査を実施、地域企業の基礎情報を把握。

ITベンダー ⇒ エリア戦略策定の基礎情報として活用

目的・狙い

自治体、商工関連団体 ⇒ 地域中小企業向け施策立案の基礎資料として活用

調査地域：当該地域（市町村または周辺地域）

調査対象：当該地域中小企業

調査設計、調査項目については要相談



調査項目（例）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1.経営課題と対応意向 | 6.IT導入・運用の担当者・キーマン |
| 2.分野別.ITシステム導入状況 | 7.導入時のポイント・導入理由・決定要因 |
| 3.経営課題へのITの活用と効果・評価 | 8.ITリテラシーと習得の方法 |
| 4.ITへの投入経費と今後の投資意欲 | 9.クラウドなどの最新ITの導入実態、意向 |
| 5.今後の導入意向 | 10.回答者属性 他 |

**～創生する未来～
運営組織・メディア掲載**

運営組織・関連団体

主催・運営協力団体

一般社団法人 クラウドサービス推進機構
(略称 CSPA)

<http://www.smb-cloud.org>

東京都文京区本駒込2-28-2
文京グリーンコートセンターオフィス9F (ITCA内)

株式会社 ノークリサーチ

[http:// www.norkresearch.co.jp](http://www.norkresearch.co.jp)

〒120-0034東京都足立区千住1-4-1
東京芸術センター1705

後援団体

経済産業省

日本商工会議所

全国中小企業団体中央会

日本情報システム・ユーザー協会

中小企業基盤整備機構関東本部

全国商工会連合会

ITコーディネータ協会

情報処理推進機構

※2014.12イベント時

～創生する未来～ キックオフイベント

80名以上のご参加をいただき、経済産業省様、ベンダー各社様他
関係各位の皆様にご登壇・ご講演をいただき～創生する未来～の
キックオフイベントが開催されました



- 日時：2014年12月5日（金） 14:00～17:00
- 場所：独立行政法人 中小企業基盤整備機構
「TIP*S（ティップス）」 <http://tips.smrj.go.jp/>
- 住所：東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル6F
- 主催：クラウドサービス推進機構
- 後援：経済産業省、中小企業基盤整備機構関東本部、
日本商工会議所、全国商工会連合会、
全国中小企業団体中央会、ITコーディネータ協会、
日本情報システム・ユーザー協会、
情報処理推進機構
- 協力：「小さな組織の未来学」（日経BP社）、
株式会社 ノークリサーチ

～創生する未来～ キックオフイベント

＜キックオフイベントの内容＞（以下、敬称略）

- 1.主催者あいさつ：クラウドサービス推進機構 理事長 松島桂樹
- 2.事業概要説明：事務局ノークリサーチ 伊嶋謙二
- 3.特別講演：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長 野口聡
「中小企業における『攻めのIT活用』について」
- 4.基調講演：中小企業診断士・ITコーディネーター 高島利尚
「中小企業の経営に役立つIT・クラウド利活用のためには何が必要か？」
- 5.クラウドベンダー公開座談会
テーマ：クラウドベンダーは全国の中小企業にIT/クラウドをどう届けるか？
登壇パネラー：富士通マーケティング 浅香直也（商品戦略推進本部 執行役員）
日本電気 及川典子（産業ソリューション事業部N-townシニアエキスパート）
日立システムズ 山野浩（ネットワークサービス事業部 主管技師長）
ノークリサーチ 伊嶋謙二（代表 シニアアナリスト）
クラウドサービス推進機構 理事長 松島桂樹

～創生する未来～メディア掲載

「創生する未来」事業は様々なメディアで取り上げられています！

「ソフトバンクビジネス+IT」

中小企業、なぜクラウドを活用できない？「地域支援プロジェクト 創生する未来」発足

<http://www.sbbit.jp/article/cont1/29016>

経産省 野口聡氏とTMI 高島利尚氏が語る、中小企業が儲けられる「攻めのIT活用」

<http://www.sbbit.jp/article/cont1/29059>

「ASCII.jp」

「地域支援プロジェクト～創生する未来～」が発足イベントを開催

<http://ascii.jp/elem/000/000/958/958639/>

「BCN Bizline」

CSPA、「地域支援プロジェクト～創生する未来～」事業を発足、全国でクラウドの普及へ

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20141128-00000010-bcn-prod>

「小さな組織の未来学（日経BP）」

「地域支援プロジェクト～創生する未来～」発足イベント開催のご案内

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/miraigaku/20141127/426002/>

未来は中小企業のために、そして日本のために「創生する未来」レポート

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/miraigaku/20150105/430506>

「創生する未来」へ——地域における中小企業の頑張りが日本を再生させる

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/miraigaku/20141211/427957/>

「PC-Webzine2015年1月号40-41P」

「地域支援プロジェクト 創生する未来」発足－クラウドサービスをどう売るか。

～創生する未来～ メディア連携オプション

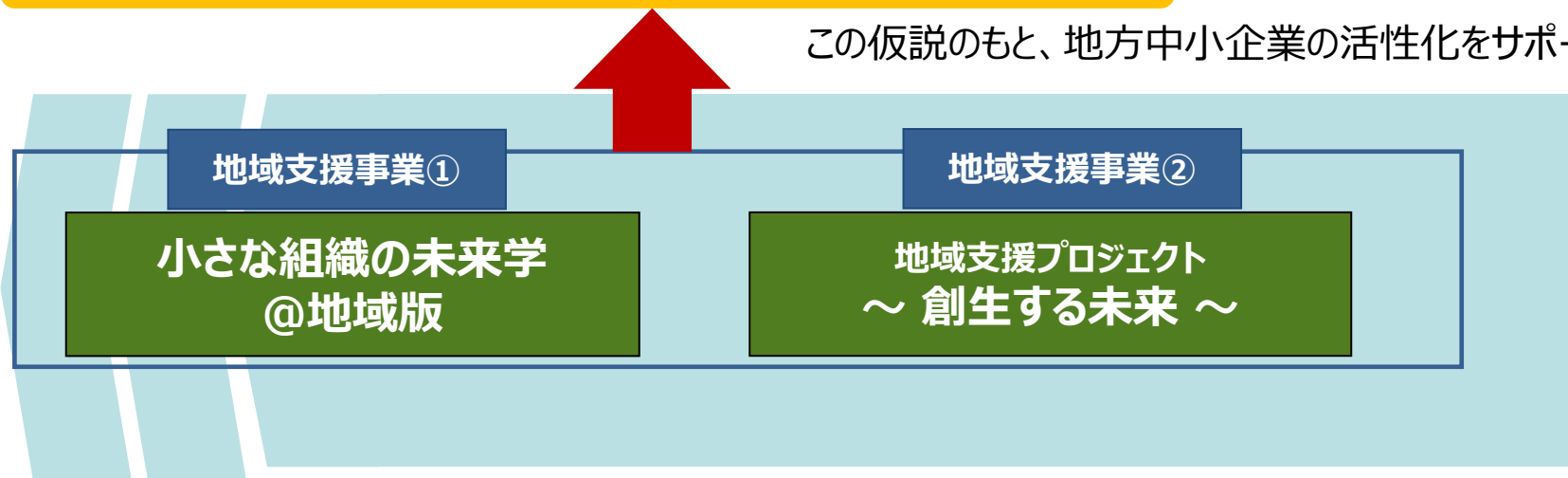


参考1：「創生する未来」は「小さな組織の未来学」と連携します。

「創生する未来」は全国の中小企業経営者が対象の日経BP社のWebマガジン「小さな組織の未来学」とメディア連携します。

全国の中小企業が元気になれば、日本は再生する！

この仮説のもと、地方中小企業の活性化をサポート



【ポイント】 Webとアナログが連動した、地方の企業、経済へIT支援を主体に実施

1. Webメディア
2. 講演・セミナー
3. 産業界
4. 公共団体・自治体
5. 大学・教育機関



5つの要素が連携した、
産官学一体となった地域振興のためのプロジェクト

参考2:「小さな組織の未来学」は中小企業の経営者に深く刺さるWebマガジン

Webマガジン 「小さな組織の未来学」とは

小さな組織の未来学

今から2020年までに中小企業の底力を見せつけて日本を次のステージに!

人を組み替える モノと道具を再構築する カネを活かす 時間を味方につける 最新記事 執筆者一覧

トップ > 最新記事一覧

最新記事一覧

今日からできる「デザイン思考」
(その2)



木全 賢
生きのびのための中小企業デザイン
2014.10.15

「やりがい」よりも「エンタメ活
用」で組織を強く



辻田 真佐憲
経営に活かす文化芸術論
2014.10.15

今日からできる「デザイン思考」
(その1)



木全 賢
生きのびのための中小企業デザイン
2014.10.14

独裁者さえも「楽しさ」を重視し
た



辻田 真佐憲
経営に活かす文化芸術論
2014.10.14

ノーベル賞を取る脳、取れない脳



米山 公啓
脳に学ぶ経営戦略
2014.10.10

ベテラン社員を大切にすることは
トラブルに強い



石原 豊昭
経営者家族の法律問題
2014.10.10

・中小企業経営者を中心とした“小さな組織”のオーナー、リーダーに 役立つ深掘した経営情報を届けるWebメディアとして、
日経BP社にて展開中

<http://www.nikkeibp.co.jp/miraigaku/>

小さな組織の未来学

今から2020年までに中小企業の底力を見せつけて日本を次のステージに!

人を組み替える モノと道具を再構築する カネを活かす 時間を味方につける 最新記事 執筆者一覧

トップ > 執筆者一覧 > 伊嶋 謙二

ホンネのITマネジメント
伊嶋 謙二



モノと道具を再構築する



iPhoneに感じる、トップシェアを取る
ための単純なこと

自分の好きなことを仕事にして、しかも成功を収める
ことは理想的な人生だと思ふ。ふと自分も起業して好
きなことをしているが、大成功かどうかは怪しい...

2014.10.08

人を組み替える



クラブトンのスローハンドのように、深
い川は静かに流れる

簡単なことをことさらに難しく語る人がいる一方で、
難しく複雑なことをいとも簡単に理解させてくれる
人もいます。音楽の世界で知らない人のいないエリッ...

2014.10.03

プロフィール



伊嶋 謙二 (いしま けんじ)

1956年秋田生まれ。矢野経済研究所でのIT産業
の調査・研究業務に従事した後、1998年にIT調
査会社ノークリサーチを設立し、代表取締役社
長に就任。現在に至る。中堅・中小企業
(SMB)市場のIT調査を得意とし、SMBのIT利
用実態に詳しい。様々な関連業界で積極的な
執筆も展開中。

> site

過去記事一覧

23
一覧を見る

● 「小さな組織の未来学」

<http://www.nikkeibp.co.jp/miraigaku/>

中小企業経営者を中心とした小さな組織のオーナーやリーダーに向けて、役立つ深掘りした経営情報を届ける新しいメディアです。具体的な人物のインタビューや事例研究などから紐解いた経営に役に立つコンテンツとしてお届けします。



◎ 約70名の執筆者、年間約500本の記事配信

◎ 月間50万 P V、20万UBの読者

◎ 500名以下の企業規模の読者は約60%

◎ 課長以上は約60%

◎ メールマガジン登録者は約3万人

参考3：「小さな組織の未来学」の地域支援事業

地域支援事業 「小さな組織の未来学 @地域版（ご当地）」

・Webマガジン「小さな組織の未来学」内に、「小さな組織の未来学@地域版（仮）」として、地域を紹介するサイトを新設。

・内容は

- 各地方自治体及び首長の紹介や自治体として“地域創生”への取り組み
- 地域の勢いのある、またユニークな中小企業の経営者の取り組み 等

地方で活躍、頑張る人や組織、企業の実態、ノウハウを取材し、「@地域版」で広く訴求・広報する。

・掲載された地域には「小さな組織の未来学@ 地域版（ご当地）」として、運営を地域の担当（企業・自治体や商工会議所などの各種団体など）へシフトして自律展開を促し、地域振興の拠点として機能させる。

Webメディア
「小さな組織の未来学」

既存コンテンツ-1

既存コンテンツ-2

既存コンテンツ-3

⋮

（新設コンテンツ）
「小さな組織の未来学@
地域版」

創生する未来事業 事務局

**「創生する未来」事業
プロジェクトチーム**

監修：伊嶋 謙二

担当：木村 知司

03-5244-6691

souseimirai@norkresearch.co.jp

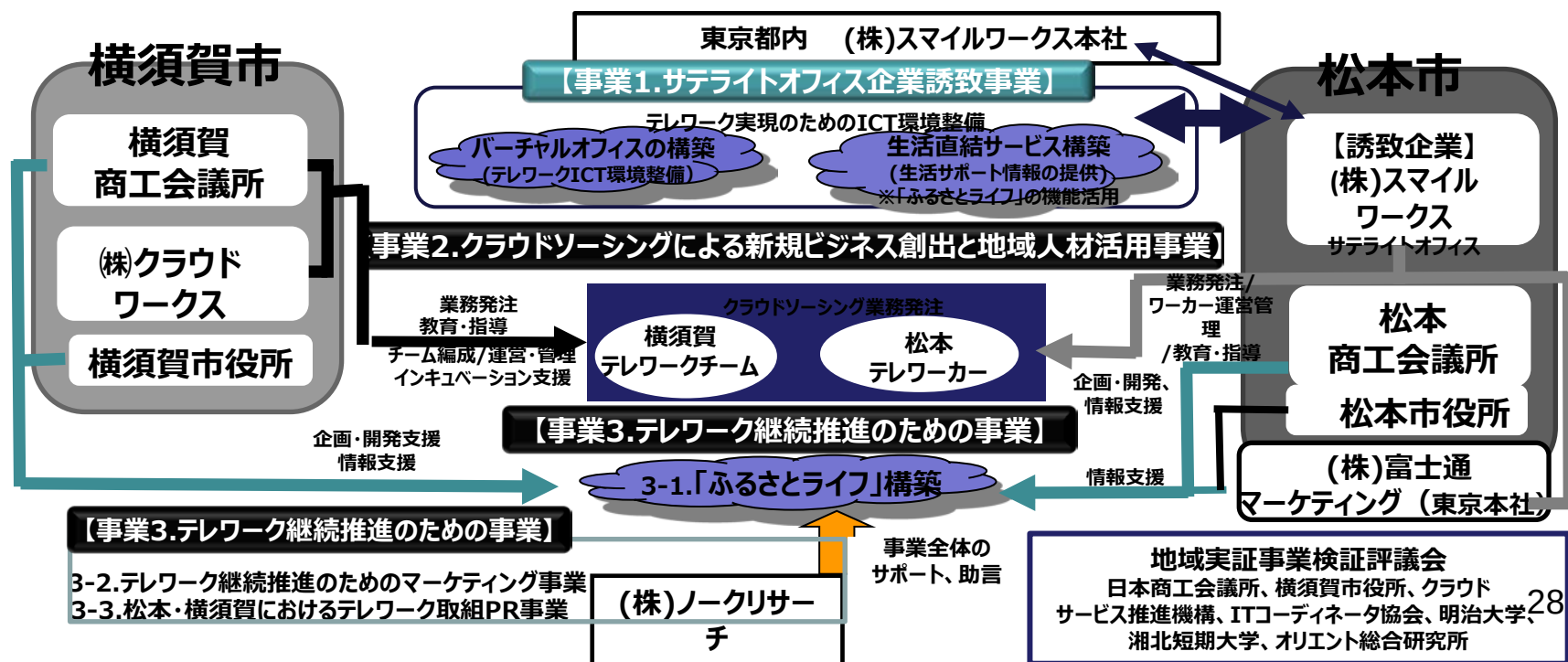
株式会社 ノークリサーチ内

http:// www.norkresearch.co.jp
〒120-0034東京都足立区千住1-4-1
東京芸術センター1705

**総務省事業で創生する未来の
連携した実績をご紹介します。**

追記：参考資料「総務省 ふるさとテレワーク事業」2015.8-2016.2

代表団体	株式会社 ノークリサーチ 事業名（横須賀・松本商工会議所地域連携モデル）		
実施地域	神奈川県横須賀市、長野県松本市	地方移動人数/地元雇用人数（目標）	地方移動人数：1名 地元雇用人数：50人（目標）
地方進出企業	スマイルワークス、富士通マーケティング、クラウドワークス、松本商工会議所、横須賀商工会議所		
事業概要	1.サテライトオフィス企業誘致事業 2.クラウドソーシングによる新規ビジネス創出と地域人材活用事業 3.テレワーク推進のための事業（3-1誘致促進用専用基盤構築 3-2テレワーク継続推進のためのマーケティング事業 3-3横須賀・松本におけるテレワーク取組PR事業）		



ふるさとテレワーク事業のメディア掲載実績一覧1

メディア掲載状況一覧1.Web／テレビ（横須賀・松本商工会議所地域連携モデル）

実証地域	日付	媒体名	報道タイトル
横須賀商工会議所	2015年9月24日	WorkMaster	クラウドワークス、総務省の公募事業に採択
横須賀商工会議所	2015年9月25日	マイナビニュース	クラウドワークス、横須賀商工会議所とテレワーク推進のための地域実証
松本商工会議所	2015年9月30日	マイナビニュース	総務省、ふるさとテレワーク推進会議開催-15団体がICT利活用で地方創生
松本商工会議所	2015年10月15日	松本平タウン情報	松本商議所「テレワーク」推進へ
松本商工会議所	2015年11月19日	ASCII.jp	スマイルワークス「ClearWorks」が描く中小企業のクラウドの世界(松本でテレワーク事業)
横須賀商工会議所	2015年9月24日	WorkMaster	クラウドワークス、総務省の公募事業に採択
横須賀商工会議所	2015年9月25日	マイナビニュース	クラウドワークス、横須賀商工会議所とテレワーク推進のための地域実証
横須賀商工会議所	2015年10月23日	神奈川新聞	在宅勤務のススメ 女性対象に講座「クラウドソーシング」活用支援 横須賀商工会議所
松本商工会議所	2015年10月30日	テレビ松本	アルプスネットワークニュース（テレワークを学ぶセミナー）
横須賀・松本商工会議所	2015年12月9日	日経BP 小さな組織の未来学	地方に仕事を！ 地方に企業を！ 地方に人を！
松本商工会議所	2015年12月10日	日経BP 小さな組織の未来学	地方都市の未来を創る手立ては何か——松本市の例から
松本商工会議所	2015年12月11日	日経BP 小さな組織の未来学	テレワークは地方の人口を支えてゆくか——松本市の例から
横須賀商工会議所	2015年12月28日	日経BP 小さな組織の未来学	首都近郊の都市で起こっている人口問題——横須賀市の例から
横須賀商工会議所	2016年1月4日	日経BP 小さな組織の未来学	就業機会とコミュニティーを並行して育む——横須賀市の例から

ふるさとテレワーク事業のメディア掲載実績一覧2

メディア掲載状況一覧2.紙媒体（横須賀・松本商工会議所地域連携モデル）

実証地域	日付	媒体名	報道タイトル
松本商工会議所	2015年9月19日	信濃毎日新聞	「テレワーク」総務省モデル事業、松本商議所などの提案採択
松本商工会議所	2015年9月29日	市民タイムス	経験や技能、テレワークで 松本商議所がモデル事業
松本商工会議所	2015年10月20日	市民タイムス	在宅PC業務に高い関心 松本のセミナーに34人
松本商工会議所	2015年10月20日	信濃毎日新聞	ネットを使った在宅勤務は？松本 都内企業が説明会
横須賀商工会議所	2015年10月23日	神奈川新聞	在宅勤務のススメ 女性対象に講座「クラウドソーシング」活用支援 横須賀商工会議所
横須賀商工会議所	2015年10月30日	タウンニュース	ネット活用で多様な働き方
横須賀商工会議所	2015年11月1日	お母さん業界新聞横須賀版	自宅で仕事をするお母さんは“ステキ”です
横須賀・松本商工会議所地域連携モデル	2015年11月2日	日本情報産業新聞	この人を尋ねて（地域実証事業に連携モデル応募・採択）

事業の掲載実績（日経BP、横須賀・松本商工会議所連携モデル連載1）

横須賀・松本商工会議所連携モデルの紹介 日経BP「小さな組織の未来学 創生する未来」での連載時期 全5回
2015.12.09-2016.1.4 <http://www.nikkeibp.co.jp/atclcm/15/427956/120800003/>

小さな組織の未来学
今から2020年までに中小企業の能力を見せつけて日本を次のステージに！

ログイン

MENU

メールマガジン会員登録

ホンネのITマネジメント
伊嶋 謙二

モノと道具を再構築する



iPhoneに感じる、トップシェアを取るための単純なこと

自分の好きなことを仕事にして、しかも成功を収めることは理想的な人生だと思う。ふと自分も起業して好きな

★ 地方に仕事を！ 地方に企業を！ 地方に人を！



創生する未来
～地域支援プロジェクト～
2015.12.09

「尾道らしさ」と「現場主義」——脱・補助金のNPO経営



事業の掲載実績（日経BP、横須賀・松本商工会議所連携モデル連載2）



地方都市の未来を創る手立ては何か——松本市の例から



創生する未来

～地域支援プロジェクト～

2015.12.10



地方に仕事を！ 地方に企業を！ 地方に人を！



テレワークは地方の人口を支えてゆくか——松本市の例から



創生する未来

～地域支援プロジェクト～

2015.12.11



地方都市の未来を創る手立ては何か——松本市の例から



事業の掲載実績（日経BP、横須賀・松本商工会議所連携モデル連載3）



創生する未来

～地域支援プロジェクト～

2016.01.04

★ 首都近郊の都市で起こっている人口問題——横須賀市の例から



創生する未来

～地域支援プロジェクト～

2015.12.28

✕ 閉じる

毎週木曜発信！あなたの仕事に役立つ情報を確実にお届け

メルマガ会員登録（無料）

★ 就業機会とコミュニティを並行して育む——横須賀市の例から



創生する未来

～地域支援プロジェクト～

2016.01.04

★ 首都近郊の都市で起こっている人口問題——横須賀市の例から

